

<第4360回>

目的地：錫杖ヶ岳（三重）

担当者：熊谷

実施日：2023年4月23日（日）

形式：ハイキング

費用：¥4,150.-

参加者：10名

天気：晴

行程：

加太駅(9:30)→(10:15)加太向井登山口(10:22)→(10:48)柚之木峠(10:58)→(11:34)鎖場手前(11:40)→(12:04)錫杖ヶ岳(12:17)→(12:35)ベンチ[昼食](13:00)→(13:36)柚之木峠(13:41)→加太向井登山口(14:01)→(14:31)加太駅(14:53)⇒(14:59)関駅→東海道関宿[散策]→道の駅関宿→(16:00)関駅[解散]

感想：

関西本線加茂駅から乗車の4名に、柘植駅で草津線経由の4名が加わり、集合地の関駅に先に到着していたMさんを加え、計9名で出発しました。大阪駅発草津線経由、天王寺駅発関西本線経由それぞれの出発が6時台で、とても早かったにもかかわらず、大勢の方に集まっていた喜びかったです。9時半に加太駅を出発し、しばらくは車道歩き。名阪国道をくぐり、山の方に入っていきます。林道脇に生えているシダをこれはワラビではなく、食べてもおいしくないなどと話をしながら、ほどなく加太向井登山口に到着すると、車が多く駐車していて、人気の山なんだと感じました。ここから山道に入ります。まだゆるやかな道で、山頂に往復してきた人達とすれ違っていきます。柚之木峠到着頃に後ろから大汗をかいたFさんの姿が見えました。早朝の電車に乗り遅れ、ようやくここで追いついたそうです。お疲れ様でした。さて、ここから道が陰しくなってきました。木の根がうねうねしている痩せ尾根をすぎ、登山道は傾斜を増していきます。かなりの急坂なのですが、本日は快晴で気温も15℃くらいでとても過ごしやすく、コンディショナル的には最高でした。そして今日のハイライトの岩場、鎖場を前にして休憩を入れ、これからの通過に備えます。その鎖場ですが、はじめはどうってこともなかったのですが、次第に傾斜のきつい岩場が現れてきました。鎖場では少し離れて進みますが、前のグループの人も手間取っているのか、なかなか前にすすみません。傾斜のきついところの途中で固まってしまっているようでした。我々も通過に手間取りましたが、なんとか無事乗り切って、全員錫杖ヶ岳に登頂することができました。山頂では、伊勢湾や鈴鹿、布引山地方面の絶景を満喫できました。山頂は狭く、記念撮影を終えると次のグループもいるので早々に出発しました。12時もすぎておりお腹もすいてきましたが、とりあえず岩場を下りきって昼食にしようということになりました。登りにあれだけ苦戦していた岩場ですが、下りは案外あっけなく通過できました。岩場を下り切った先のベンチで、昼食をとりましたが、皆さん岩場の余韻にひたっているようで、グレードは初級ではないなどの声も聞かれました。岩場で思わぬ時間がかかったことや、安堵して気が抜けたこともあり、加太駅から関駅への歩きを全員一致で、列車での移動に変更することとしました。加太駅構内には、関西本線の歴史などを展示してあるサロンもあり、出発間際まで、ガイドの方?の説明を受けたりしてすごしました。そして加太駅から帰阪する3名と別れ、残り7名で列車に乗り込み関駅を目指しました。この付近は「加太越え鉄道遺産群」が多くあり、途中の隧道2箇所も明治時代完成の関西鉄道の頃に造られた重厚な造りで、とても雰囲気がありました。関では1時間程度「東海道関宿」の観光をしました。東海道53次47番目の宿場町として参勤交代や伊勢参りの人々で賑わっていたそうで、旧東海道の宿場町の中で唯一歴史的な町並みが残っているところとのことでした。ただ、観光客もまばらで、もう少し賑わっていて欲しいとも感じました。街道沿いの「志ら玉屋」という和菓子屋さんに立ち寄り、各々和菓子を買って求めました。私も看板商品の「志ら玉」を1個(100円)買ってその場で食べましたが、とてもおいしかったです。この菓子は江戸時代の旅人から愛されていた関宿名物の餅菓子とのことでした。最後に関駅に隣接する道の駅関宿に立ち寄り、買い物を楽しみました。錫杖ヶ岳は、歩く距離は比較的短かったものの変化に富んでおり、とても印象的な山行となりました。遠方でしたが、皆様お疲れ様でした。

特記：

山頂直下の岩場、鎖場については、「初心者向け」と記載されている情報も多かったのですが、人によって受け止め方は色々であると感じました。雨天の時はいかない方がいいと思いました。